



# 芽が出て、葉が出て、花が咲く!



第1学年

## いのちと心の授業

12月9日(土)2、3時間目に「解剖学が語る進化の歴史」という演目で東京大学総合研究博物館の遠藤秀紀先生の講演会を行いました。



今回の遠藤さんのお話を聞いてとても勉強になりました。私を犬を飼っているので、今よりももっと犬を大切に飼っていきたくて思いました。遠藤さんがおっしゃっていた「私の仕事は死んでしまった動物に第二の人生を与えること」という言葉に私はとてもすごいと思えました。第2の人生を与えることはなかなかできないので私もやってみたくて思いました。

さん

僕は感動しました。死んでしまった動物たちに2度目の生涯を与えていることに感動しました。パンダの7本目の指を発見した時の恐怖はわからないけれど、僕もうれしさ、楽しさを越えた恐怖を味わってみたいです。専門家の意見を聞いてよかったです。

君

遠藤さんのお話で特にイルカに後ろ足があったとか、キリンの首の骨の数が人間と一緒など、遠藤さんの見つけた骨のことについても興味をもつことができました。剥製にする時など、とても大変だということも知らずに博物館を見学していたので、これからはどのように作られたのかなどを想像して見てみたいです。今度、「東京大学総合研究博物館」に行ってみたくて思いました。

君

今回、遠藤さんの仕事の話聞いて、死体から新しい発見をして動物の新たな情報を得られてとてもすごい仕事だなと思いました。それに、動物や生き物の死体を見たり、解剖した結果から「昔はこうだったんじゃないか」など想像していくというのもすごいなと思いました。遠藤先生の話聞いていて自分もこのような仕事をして、解剖した結果から新発見ができれば、すごくおもしろそうだなと思いました。

さん

## 「いのち」をいただくということ

12月9日（土）1時間目の道徳では、牛のと殺について知り、「いのち」について考える授業を行いました。

私は普段あまり動物たちや植物たちの「いのち」をいただくということに対して意識していませんでした。でも、このことはこれまでもらったいのちに対してとても失礼なことだと思いました。人は牛を見ると「かわいい」と言い、牛が肉にされている過程を見ると「かわいそう」と言う、ということがとても印象に残っています。この言葉は、とても身勝手にみにくいものだと感じました。これからは、何事にも「いのち」をいただいているという感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思いました。

さん

今日のこの授業を通して、精一杯生きているのは人間だけじゃなく、さらにそのいのちをもらっていのちをつないでいるんだと強く感じた。「いただきます」「ごちそうさま」はどうしても雑になってしまっていたけれど、意味をしっかりと理解したことでこれからは感謝の気持ちをもって、挨拶をするように心がけたい。人間は人間だけじゃ生きていけない、弱い生き物なんだと思った。

君

人間は「食物連鎖」の輪には入ってなくて、人間が死んだら焼かれたりするだけで、地球の役に立つとはあまり思えない。また、人間が生きていればいる分だけ、植物（自然）を壊し、動物を殺し、二酸化炭素を出して、地球を破壊する一番大きい存在だと思う。だから、食事をする時には、「いただきます」や「ごちそうさま」などの言葉を思いを込めて言い、無駄にならぬように出された食べ物は残さずに食べる必要がある。

君

今回の授業で改めて人間の生物界での立ち位置を知りました。人間は元々あの食物連鎖の中において知恵という武器で成り上がった生き物です。相違点は、強いか弱いかぐらいしか大きな違いはありません。そのため、どんな動物、生物も対等で、簡単に扱ってはいけないんだな～と思いながら聞いていました。これからは、植物には優しく、動物には感謝を込め食べていきたいです。

君

## 今週の予定

日	曜日	1	2	3	4	5	6	予定	給食
18	月	学	理	国	体	数	社	学年朝礼 避難訓練	○
19	火	国	体	数	社	技	英		○
20	水	音	数	美	英	道	/	英会話講座 15:00～ 45分授業	○
21	木	英	数	体	国	理	理		○
22	金	国	理	英	家	総	総		○
25	月	英	国	理	学	終	/	終業式 15:00下校	○